

2017年度事業報告

1 資料収集保管事業

①資料収集

◇資料調査のなかで、館外の関係者と資料の受贈・寄託を受けられるようにした。

◇差別・人権に関する既存資料を核とした収集を継続した。

②資料保管

◇収蔵資料目録により、資料の所在を確認し、整備に努めた。

2 調査研究事業

◇当館の基本理念を活かすために、日本社会の歴史と文化に根ざした人権問題を総合的に対象とした調査研究を推進した。

◇調査・研究の成果は総合展示・特別展・企画展・教育普及活動などを通じて広く還元した。

3 展示公開事業

①総合展示の改善

◇分かり易くするために、資料と解説を補充した。

②特別展

第72回特別展「夜間中学生 学ぶたびくやしく・学ぶたびうれしく」

◇趣旨 (1)各地に設置されている夜間中学校の歴史を振り返り、学校教育や人権教育と現状の関係を明らかにした。

(2)さまざまな理由で義務教育を経験できなかった人々・終えることができなかった人々の学習意欲に対して夜間中学校が果たして来た役割を考えた。

◇期間 2017年10月18日(水)～12月16日(土)

◇主催 夜間中学生歴史砦、大阪人権博物館

◇会場 大阪人権博物館特別展示室

③企画展

1. 「収蔵品展～世界の靴・高橋コレクション」

◇趣旨 当館所蔵の高橋コレクションの世界の靴をもとに、靴に込められた職人の思いと技術について紹介した。

◇期間 2017年5月24日(水)～7月8日(土)

◇主催 大阪人権博物館

◇会場 大阪人権博物館特別展示室

2. 巡回展「熊本震災と障害者を受け入れた避難所 ―熊本学園大学・激動の45日―」

◇趣旨 2016年4月14日の熊本地震の避難所となった熊本学園大学での障害者支援について紹介した。

◇期間 2017年7月19日(水)～8月26日(土)

◇主催 大阪人権博物館

◇会場 大阪人権博物館ギャラリー

3. 歴史解説と写真展

「精神医療の歴史と私宅監置 過去との対話から、現在と未来へのメッセージ」

- ◇趣旨 精神医療の歴史と私宅監置について写真資料を紹介し、今日の課題について考えた。
- ◇期間 2017年9月6日(水)～10月7日(土)
- ◇主催 近代日本精神医療史研究会、大阪人権博物館
- ◇後援 大阪府立大学地域保健学域教育福祉学類、人間社会システム科学研究科社会福祉学専攻松田博幸研究室&三田優子研究室、公益社団法人大阪府精神障害者家族会連合会
- ◇会場 大阪人権博物館ギャラリー

4. いまこそ知りたい！楽しく学ぼう 日本国憲法展1, 2

- ◇趣旨 公布後71年を迎えた日本国憲法をイラスト付き解説やイベントで理解を深めた。
- ◇期間 2017年10月18日(水)～12月16日(土)
2018年1月10日(水)～6月28日(土) (期間延長)
「とことん平和主義」
- ◇主催 明日の自由を守る若手弁護士の会大阪支部、大阪人権博物館
- ◇会場 大阪人権博物館ギャラリー

4 教育普及事業

- ①リバティ人権教育講座 きっかけは人権教育・啓発のむかしばなしから
「おはなし おかわり」
日時 2017年8月5日(土) 14時～
場所 大阪人権博物館研修室
内容 大阪の被差別部落の民話を今日の人権教育・啓発の教材として役立てた。
- ②展示解説(巡回展関連)
日時 2017年8月19日(土) 14時～
場所 大阪人権博物館研修室
内容 避難所の取り組みと大阪の社会的課題と合わせたレクチャーを行った。
- ③レクチャー&ギャラリートーク(企画展3関連)
日時 2017年9月16日(土)、10月17日(土) 13時30分～
場所 大阪人権博物館ギャラリー
内容 展示解説と当事者による語りを行った。
- ④「憲法カフェ憲法ってなあに？」(企画展4関連)
日時 2017年10月21日(土)、12月9日(土)、13時～、15時
場所 大阪人権博物館研修室
- ⑤「私たちの憲法生活」
日時 2017年10月28日(土) 13時30分～
場所 リバティホール
- ⑥「子ども憲法カフェ」
日時 2017年11月4日(土) 13時～、15時
場所 大阪人権博物館研修室

- ⑦「檻の中のライオン」
日時 2017年11月11日（土）15時30分
場所 大阪人権博物館研修室
- ⑧「憲法ミュージカル『無音のレクイエム』憲法カフェ編」
日時 2017年11月18日（土）14時～、16時
場所 大阪人権博物館研修室
内容 DVD「無音のレクイエム」「憲法カフェ編」上映
- ⑨「原発被害 避難の権利」
日時 2017年12月2日（土）13時～
場所 大阪人権博物館研修室
- ⑩「憲法ビンゴで遊ぼう」
日時 2017年12月16日（土）13時～、15時
場所 大阪人権博物館ギャラリー
- ⑪「なんで止められへんかったん～戦争の始まり方、今に活かす～」
日時 2018年2月17日（土）13時30分～
場所 大阪人権博物館ギャラリー
- ⑫「その歌、その写真、その文書、著作権は大丈夫？」
日時 2018年3月10日（土）13時30分～
場所 大阪人権博物館研修室
- ⑬「憲法・原発カフェ」
日時 2018年3月17日（土）13時30分～
場所 大阪人権博物館研修室
- ⑭トークライブ前川喜平さんと考える「ひとりひとり」の学び
日時 2018年3月31日（土）13時30分～
場所 リバティホール

5 ホール事業

- ①「なにわ太鼓演奏会」怒塾、童、怒合同演奏会
◇趣旨 地元浪速の被差別部落で活動するの太鼓グループの演奏から、部落の伝統産業のひとつである太鼓の文化に親しんだ。
◇主催 太鼓集団「怒」、大阪人権博物館
◇日時 2017年5月28日（日）14時～
◇会場 リバティホール
- ②太鼓集団「怒」30周年記念公演 **Desafio** ～怒り、再び～
◇日時 2017年9月9日（土）18時～、10（日）14時～
◇会場 リバティホール
◇主催 太鼓集団「怒」、大阪人権博物館
- ③なにわりバティ祭り2017
◇趣旨 浪速区西地域の賑わいと活性化のために、地元町会、浪速区社会福祉協議会および浪速区役所と連携し、楽しめる有意義な祭りを開催した。
◇主催 大阪人権博物館
◇協力 浪速連合振興町会、浪速区役所、浪速区社会福祉協議会

◇日時 2017年11月25日(土)10時30分～

◇会場 リバティおおさか中庭

◇内容 舞台発表、地元町会、関係団体による模擬店の出店

◇参加費 無料

④リバティアートフェスタ2017(共催)

◇趣旨 学校教育現場で日常的におこなっている有形・無形の文化・芸術活動を発表し、活動の意義を広く認識した。

◇主催 大阪人権博物館、大阪市人権教育研究協議会、大阪市外国人教育研究協議会

◇日時 2018年1月20日(土)

◇会場 リバティホール

◇内容 学校諸団体による文化活動の発表会

◇参加費 入館料のみ

6 観覧サービス事業

(1) 館内提供サービス

◇来館する団体(社会人および学校など諸団体)を対象としたプログラムで、総合展示に則しつつ、今日的課題なども盛り込んだ内容とした。

①学芸員講座

◇趣旨 展示内容に即した講義などをおこない、研修の意義をいっそう深めた。

◇内容 部落問題に関する事前相談・情報提供→ガイダンス→解説(講演)→会場提供

◇人数 随時(開催日は水曜から金曜)

②太鼓と皮革のまちを歩くフィールドワーク(社会人向け)

◇人数 20人程度を上限とした

◇開催日は、金曜、土曜とし、水曜、木曜は「浪速部落の歴史」編纂委員会と連携して行った。(6月から9月は実施しない。)

③学校向けの見学時のサービスはホームページ上のワークシーートの活用、ガイドボランティアによる観覧支援を行った。

(2) 総合展示関連

①博物館ボランティア

◇趣旨 一般来館者に対して、総合展示の解説ガイドをおこなったり、体験コーナー(12ヵ所)でプログラムの進行にあたるサポーターの配置に加え、ボランティア活動のさらなる充実化をはかるため、館の運営(広報や宣伝など)についての補助を依頼する体制を作った。

◇内容 1. スターティングガイドならびに展示室内での質問対応
2. 各体験コーナーのプログラムの実施
3. 当館の事業運営に関わる広報・宣伝・美化・清掃
2017年11月11日(土)第2回ボランティアデー
・博物館外周の清掃活動を実施

②事業補助スタッフ

◇趣旨 研修サービス、フィールドワークなど有償のサービスを希望する来館者に対して、総合展示のテーマに応じた解説やガイドフィールドワークのガイダンスを

おこない、館の運営(広報や宣伝など)についての補助する体制を作った。

- ◇内容 1. 総合展示に即した講義を行った。
- 2. 太鼓と皮革のまちを歩くフィールドワークのガイダンスと案内
- 3. 当館の事業運営に関わる広報・宣伝・美化・清掃

7 広報活動

①サポーターへの広報活動

◇発行 各事業開催毎

◇部数 800部

◇内容 館主催、共催事業のチラシ等の配付

②ホームページ、Facebook

◇ホームページ上で年間のスケジュール、各事業について掲載したが、Facebookは十分に更新ができなかった。

③発送(チラシ・ポスター)

◇事業毎に共催団体と連携して周知した。

◇特別展のポスターは事業の性格により作成を判断して広報、掲出を行った。

④マスコミの活用

◇報道資料(企画書/資料リスト/資料写真など)の提供を行った。

◇新聞記者個人に対する働きかけを強めた。

⑤関西文化の日への参加

◇2017年11月18日(土)の関西文化の日に参加し、無料入館とした。

8 利用促進活動

①諸機関・団体への働きかけ

◇利用促進活動(来館、研修室、ホール利用の依頼)を継続し、来館者の増加と施設の貸出による自主財源を確保に努めた。

②第2回スポンサー・サポーター総会の開催

◇財団の事業活動を支えている賛助会員、寄附者に対して、財団をめぐる財政状況、事業計画、サポーター拡大依頼、口頭弁論の進捗について説明した。

2017年8月26日(土) 記念公演「日本国憲法と人権思想」

9 自主財源確保

◇収入の基本であるスポンサー、サポーターの確保・拡大、一般寄附の確保に向け役・職員一丸となって収入確保に向けた活動を行った。

◇関係団体の諸集会などで継続的に利用促進とスポンサー、サポーターの確保・拡大の依頼活動を行った。

2017年11月6日(月) 部落解放研究第51回全国集会全体会
大阪国際会議場(グランキューブ大阪)

◇ミュージアムショップの販売品目を精査し、当館の書籍等の積極的な販売を行い、展示関連図書の販売を充実させた。

10 組織整備

①評議員会、理事会

◇評議会

その年度の事業報告、決算等を審議する公益財団法人の議決機関としての役割を果たした。

第12回評議員会 2017年6月16日開催

◇理事会

評議員会の議決に基づいて、執行機関として事業の推進と組織運営、予算執行を円滑におこなうように努めた。

第25回理事会 2017年5月26日開催

第26回理事会 2017年10月17日開催

第27回理事会 2017年12月12日開催

第28回理事会 2018年3月10日開催

11 裁判への対応

弁護団、リバティおおさか裁判を支援する会と連携し、口頭弁論と進行協議で財団の主張に万全を期した。

第10回口頭弁論 2017年9月15日

第11回口頭弁論 2017年12月1日

第1回進行協議 2017年12月1日

第2回進行協議 2018年2月19日